

会 議 録

1	会 議 名	令和6年度第1回阿賀野市水道事業審議会			
2	開 催 日 時	令和6年10月4日（金）午後1時30分から午後2時10分まで			
3	開 催 場 所	阿賀野市上下水道局 3階 大会議室			
4	出 席 者	委員	小林 龍幸（会長）	飯田 武志（副会長）	荒澤 浩和
			荒澤 浩和	高橋 えみ子	鈴木 美由紀
			鈴木 純	渡辺 正弘	
		事務局	高橋上下水道局長	音田副参事	渡辺副参事
			菅原庶務係長	渋谷庶務係主任	
	議 題（公開・非公開）				
5	（1） 令和5年度水道事業会計決算状況報告（公開）				
	（2） 阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について（公開）				
6	非公開の理由	なし			
7	傍 聴 者 の 数	なし			
8	発 言 の 内 容（○印は概要表示）				
	発 言 者	内 容			
	事務局	○出席者が揃い定刻となったため、令和6年度第1回阿賀野市水道事業審議会の開会を告げる。委員8名全員出席により会議成立を報告。本審議会が規定により傍聴が可能であること、及び議事録は市のホームページで公開すること、録音及び写真撮影することについて承諾を求める。 ○配布資料の確認を行い、小林会長へ進行を引き継ぐ。 ・有収水量実績・・・・・・・・・・・・・・・・（資料1） ・決算報告書・・・・・・・・・・・・・・・・（事前配布） ・決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・（事前配布）			
	会長	○挨拶			
	副会長	○挨拶			
	会長	○水道事業の災害対応への感謝を述べ、改めて開会宣言。 ○事務局代表として、高橋局長へ挨拶依頼。			
	事務局	お疲れ様でございます。 上下水道局長を拝命しております高橋と申します。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご参集いただきありがとうございます。 本来であれば、市長が出席してご挨拶するべきところではありますが、日程の調整がつかず、本日は出席できませんことをこの場をお借りして、お詫び申し上げます。 本日の審議会につきましては、特に諮問させていただく案件はございませんので、令和5年度の決算状況の報告についてご説明させていただきます。 令和5年度の給水状況につきましては、暖冬による影響が大きく、旅館用、工場用の回復などがありましたが、当市水道事業におきましては前年度を下回る結果となったところでございます。 本日は、この給水状況を含めまして報告をさせていただき、皆さまからご審議いただきたくお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。 また、本年度、人事異動等により事務局の顔ぶれが変わりましたので、紹介させていただきます。			

音田副参事 渡辺副参事	○自己紹介
会長	それでは次第によりまして進めてまいります。 事務局、議題（１）令和５年度水道事業決算状況の報告をお願いします。 質疑等については、説明後をお願いします。 それでは事務局お願いいたします。
事務局	○有収水量について 有収水量とは、各家庭等の水道メーターから計測した水道料金の根拠となる水道水の使用水量のこと。阿賀野市の水道は、安田・京ヶ瀬・水原・笹神・新発田市豊浦の一部・月岡温泉の６地区に分類。 有収水量は5,604,973㎥、前年度比マイナス1.47%、83,524㎥減で前年度を下回った。物価上昇等による節水意識向上等が推測され、人口減少が続き有収水量の減少傾向が続いている。地区別では、笹神地区以外は減少。 生活用水は全体水量の約70%を占めているが、3,898,873㎥で前年度比マイナス2.42%、80,303㎥減、給水人口も43,384人、前年度比マイナス1.29%、565人減となった。人口減少が生活用水の減少に直結。 工場用は食品製造業の増加により、旅館用は月岡地区での増加により水量が増加、営業用と官公署は施設や施設での使用量減少により水量が減少した。 ○決算概要について 本年9月議会で認定及び議決を得ていること、配布資料の決算概要についてポイントを絞り報告する旨申し添える。 有収水量と給水人口の減少により、料金収入も前年度比マイナス1.11%、9億7千151万9千円となった。 収益的収入及び支出において、水道事業収益は、予算額に対して2,478万5,339円の収入減、執行率98.12%。水道事業費用は、予算額に対して不用額1億397万7,795円、執行率91.63%。三大費用（減価償却費、支払利息、職員人件費）の内、支払利息・人件費は額、率とも近年減少している。 資本的収入及び支出において、資本的収入は、1億998万692円の収入不足、執行率77.14%。資本的支出は、予算額に対して不用額1億817万9,940円、執行率で86.12%となり、収支不足額6億4,653万8,752円は、収益的支出で生じた、減価償却費等の現金支出を伴わない費用や積立金等で補てんした。 純利益は、前年度から2,592万1,753円減少。収益が有収水量の減少などにより724万1,003円減少し、費用が資産減耗費の増加などにより1,868万750円増加したことによるもの。 企業債の状況は平成17年度をピークに年々減少し、令和5年度も企業債の借入れを抑制した結果、51億円まで減少。給水収益に対する残高の割合も令和5年度は526%と減少傾向だが、新潟県内20市の令和4年度平均が499%であり、まだまだ高い傾向にある。
会長	○質問、意見等ないか諮り、何もないことを確認。 それでは、議題（２）の「阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局	次第に記載されておりますとおり、皆様の任期につきましては今月末をもって満了となっております。 議会推薦の委員の皆様については、改めて議会推薦をいただくこととなりますが、識見を有する6名の委員の皆様に「阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について」事務局からお願いするものであります。 昨年度、また本年度につきましては、審議会に対しまして諮問する案件はございませんでしたが、次年度につきましては水道事業における経営計画でございます「新水道ビジョン」経過期間が満了します。そういったことから、新たに10年間の計画の改定を予定しております。現在の「新水道ビジョン」にあります通り、収支状況は大きく悪化する見込みであり、人口減少、物価高騰の状況を見ますと、更に悪化するものと考えておりまして、水道料金の改定も視野に入れていかなければならない状況が迫っているのではないかと考えております。 このような事情でありますので、先日文書でもご依頼させていただき、皆様のご都合もあろうかと存じますが、これまで審議委員を経験されました委員の皆様により、引き続き審議をしていただきたく、再任をお願いするものであります。
会長	今ほど事務局からの説明がありましたが、今月末を持ちまして委員の任期が満了するわけですが、水道の経営に関しましては、長い目で見ないと、なかなか判断が難しいという面もございます。 これに関して委員の皆様からご意見はありませんでしょうか。
委員	異議なし。
会長	「異議なし」との声がございましたので、異議なしとします。議会推薦を除きます全委員が再任可能とのことであります。事務局よろしいでしょうか。
事務局	○再任のお礼、この場で辞退を申し出にくかった方は、別途事務局へ申し出て構わない旨申し添える。
会長	○市議会推薦2名を除く再任委員の氏を読み上げる。 それでは、改選の件につきましては、これで終了し、事務局にまかせることでよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
会長	(事務局へ) そのようにお願いします。 議題についてはこれで終了いたします。 最後に、3の「その他」ですが、事務局で何か用意されていますか。
事務局	事務局では特に用意してございません。

会長	○委員から何かないか諮り、ないことを確認し閉会の挨拶へ移る。 それでは、本日の次第の全てが終了しました。 今回は、令和５年度決算状況を説明していただきましたが、有収水量は大幅に減少し、給水人口の減少には歯止めが掛からないような状況であり、それに加え節水型生活の普及もあり、水が売れない社会は今後も引き続くものと推測され、長期的な予測はかなり厳しいと感じたところでございます。 なお、このところ災害が多いですけれども、強靱化を進めていただき、こういった地域で災害が起きた時に被害が少なくなるようにしていただきたいと思いますところでございます。 水道事業にとりましては、水が売れないということは、致命的であると察しておりますが、そういった状況下であっても、事務局には是非、ビジョンの施策を推進するとともに、併せて黒字体系を維持し、可能な限り料金値上げを先送りできるよう経営努力をお願いするものです。 以上で本日の審議は終了いたします。慎重審議ありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。最後に、事務連絡をさせていただきます。 本日まで出席いただきました“審議会委員報酬”につきましては、委員の皆様の指定された口座に１０月２１日に振り込ませていただきます。ご確認をお願いしたいと思います。 大変お疲れ様でした。お気をつけてお帰りください。